

県内景気動向調査(2020年4-6月実績、7-9月見通し) — 県内景気は後退している —

株式会社海邦総研(代表取締役社長:新崎勝彦)では、このたび、県内景気動向調査を実施しました。その結果をご報告いたします。

【全体概要】

■ 現状判断

今期(2020年4-6月)の県内企業の景況判断 BSI は-68.2 で大幅な「下降」超となり、多くの企業が景況が悪いと感じていることから、「県内景気は後退している」。前回調査時より、新型コロナウイルスの影響がさらに拡大し、さまざまな業種に波及した。特に4-5月は緊急事態宣言による営業自粛で、壊滅的な打撃を受けた企業も多く、雇用にも影響が出ている。

■ 見通し

来期(7-9月)の景況見通し BSI も-9.4 で「下降」超となっている。観光繁忙期への期待等もあり、下げ幅は縮小している。一方で、感染拡大の第2波を不安視する声も強い。

【業種別概要】

■ 観光関連 [コロナショックにより、引き続き大幅悪化]

- 4-6月期実績の BSI は-100 で、大幅な下降超。観光客の激減により、全ての企業が、景況が低下したと回答した。特に4-5月は、売上が前年の9割減に落ち込む企業も見られた。社員を休業させた企業も多く、雇用にも影響が出ている。

■ 建設・不動産関連 [建設、不動産ともに悪化 建設では人手不足が継続]

- 4-6月期実績の BSI は、建設業で-53.6、不動産で-44.4となり、それぞれ大幅に低下。観光関連からの受注が白紙になった。緊急事態宣言で営業活動に支障が出たりした企業が多い。不動産では賃貸は堅調、マンション販売には鈍さがある。

■ 食品・消費・サービス関連 [コロナショックが波及し、全体として悪化]

- 全体として大幅に下降している。観光客による消費の押上が蒸発してしまった状況で、特に観光に頼っていた業態の企業で大幅に下降している。業況の悪い業種から良い業種への雇用移動が見られる。

【資本金別・地域別概要・売上先マーケット別】

■ 資本金別

- 4-6月期の景況は、すべての資本金規模で「下降」超となっている。
- 7-9月期の景況見通しは1億円以上のみ「上昇」超となっている。

■ 地域別

- 4-6月期の景況は、すべての地域で「下降」超となっている。
- 7-9月期の景況見通しは、すべての地域で「下降」超となっている。

■ 売上先マーケット別

- 4-6月期の景況は、すべてのカテゴリで「下降」超となっている。
- 7-9月の景況見通しは、すべてのカテゴリで「下降」超となっている。

《本調査の問い合わせ先》

株式会社 海邦総研 (担当:地域経済調査部 瀬川、当銘)
〒900-0015 那覇市久茂地 2-9-12-4F TEL:098-869-8724

1 県内企業景況調査結果概要

(1) 県内企業の景況判断 BSI

■ 現状と見通し

- 実績(2020年4-6月期)
 - 全業種の景況判断 BSI(実績)は、-68.2 で「下降」超
- 見通し(2020年7-9月期)
 - 全業種の景況判断 BSI(見通し)は、-9.4 で「下降」超

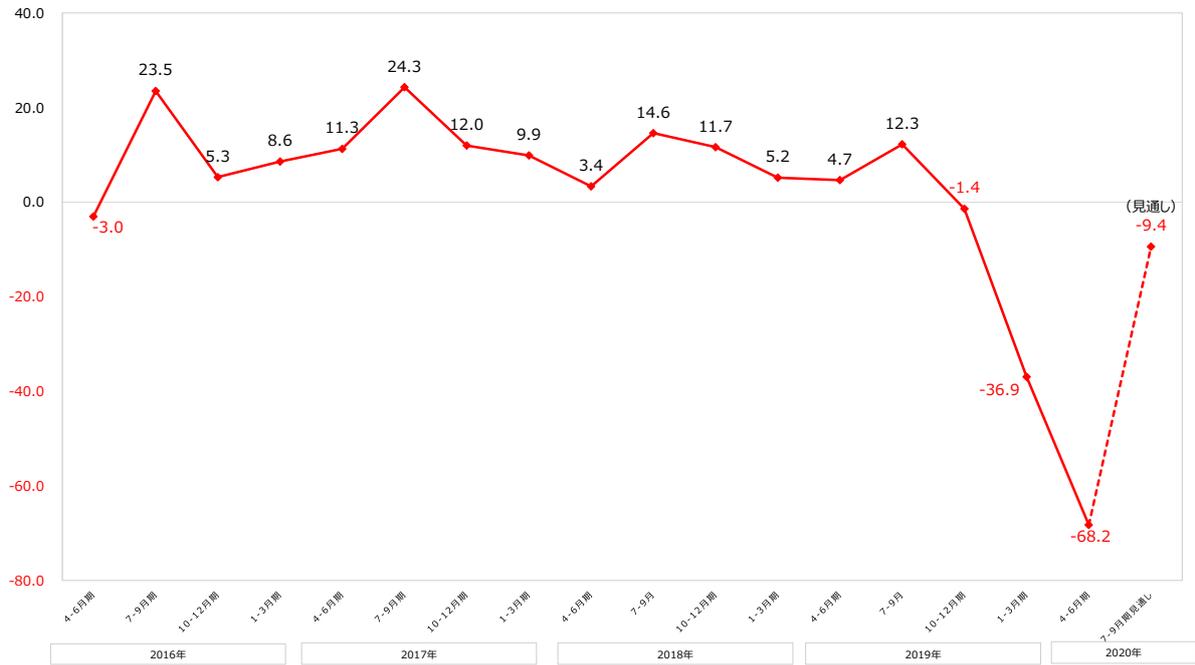
■ 主要業種別結果

- 実績(2020年4-6月期)
 - 「下降」超は、旅行・宿泊業(-100.0)、飲食サービス業(-100.0)、製造業(-83.3)、その他サービス業(-67.6)、卸売・小売業(-64.6)、医療・福祉(-61.9)、建設業(-53.6)、不動産業(-44.4)、情報通信業(-41.2)
- 見通し(2020年7-9月期)
 - 上昇超は、飲食サービス業(29.4)、医療・福祉(9.5)
 - 下降超は、情報通信業(-23.5)、製造業(-16.7)、その他のサービス業(-12.7)、建設業(-11.6)、不動産業等(-11.1)、旅行・宿泊業(-11.1)、卸売・小売業(-4.9)

■ 企業の景況判断BSI (前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

	時期	2018年		2019年				2020年			
		7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	
		調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	見通し	調査実績	見通し
全業種BSI		14.6	11.7	5.2	4.7	12.3	-1.4	-36.9	-38.4	-68.2	-9.4
建設業		18.2	31.0	24.0	8.2	3.8	12.1	-1.3	-24.0	-53.6	-11.6
製造業		15.9	-10.3	-19.0	5.3	20.9	8.2	-60.5	-34.9	-83.3	-16.7
情報通信業		-5.3	33.3	17.6	0.0	5.9	0.0	5.6	-11.1	-41.2	-23.5
卸売・小売業		20.0	17.1	-3.3	-3.0	25.8	-8.2	-34.7	-45.3	-64.6	-4.9
不動産業等		22.2	20.0	24.2	11.8	-5.9	-15.6	-16.1	-45.2	-44.4	-11.1
旅行・宿泊業		64.0	-16.2	-20.8	20.0	20.8	-67.7	-91.1	-82.2	-100.0	-11.1
飲食サービス業		0.0	-44.4	10.0	-7.7	30.0	-6.7	-75.0	-58.3	-100.0	29.4
医療・福祉		8.7	4.2	-13.6	-18.8	4.8	11.8	-50.0	11.1	-61.9	9.5
その他のサービス業		-2.9	13.5	14.5	9.6	8.3	7.1	-36.9	-35.7	-67.6	-12.7
資本金別											
	1,000万円未満	24.1	7.4	10.1	5.5	13.9	9.5	-45.0	-39.0	-71.0	-14.0
	1,000万円以上5,000万円未満	10.3	14.5	4.8	8.2	11.6	-0.5	-29.2	-40.0	-65.8	-11.1
	5,000万円以上1億円未満	15.8	21.4	5.4	-14.3	10.5	-5.7	-54.1	-35.1	-68.9	-13.3
	1億円以上	12.5	7.5	5.4	10.5	15.6	-5.0	-31.6	-28.9	-71.7	10.9
従業員数別											
	10人未満	20.6	22.4	12.0	9.5	8.6	8.0	-29.2	-32.3	-67.0	-15.1
	10人以上20人未満	15.7	8.1	6.1	8.1	19.6	-9.8	-31.1	-27.0	-74.7	-6.3
	20人以上50人未満	15.9	4.4	6.0	5.1	10.3	-6.6	-41.6	-46.5	-62.0	-5.6
	50人以上100人未満	4.2	11.5	-6.5	5.1	9.3	6.1	-33.9	-40.3	-78.3	-8.3
	100人以上	8.8	14.0	5.8	3.3	15.0	-5.5	-47.6	-41.3	-61.8	-5.3
地域別											
	本島北部地区	11.1	3.2	-6.5	-14.3	5.4	8.3	-44.7	-65.8	-77.1	6.3
	本島中部地区	14.2	8.8	9.5	2.8	14.7	7.6	-18.7	-32.9	-60.6	-5.1
	本島南部地区	9.3	17.2	15.5	5.4	12.7	10.4	-40.3	-34.3	-67.6	-16.9
	那覇地区	7.6	21.1	-1.2	3.2	6.8	-20.2	-53.3	-43.0	-75.9	-17.6
	離島地区	53.3	-5.6	-3.1	36.4	18.8	-10.5	-50.0	-28.6	-71.1	-11.1

■ BSI 推移



(2)調査概要および調査対象について

沖縄県内景況や、企業経営の実態と見通しを把握し、今後の各企業の経営の参考情報として提供することを目的とする。

調査の対象、調査方法、回収率等は以下のとおり。

調査概要

項目	内容
調査対象	原則、県内に本社所在地がある2,000企業に発送した。 ただし、調査対象有効企業数は、宛先不明として返送されてきた6事業所を除いた1,994事業所。
抽出方法	信用調査会社などから提供を受けた。その際、業種、地域については、経済センサス調査基礎調査結果と偏りが少なくなるよう考慮して抽出した。そのほか、各種公開情報等を参考にして発送先を選定した。
調査方法	郵送により調査票を配布・回収 ※一部インターネットによる回答・回収
調査期間	2020年6月4日に調査票を発送し、6月29日到着分までを集計
回収状況	有効回収数：447通（有効回答率：22.4%）

弊社が取りまとめた、県内企業の各種BSI（Business Survey Index）の算出方法は、以下のとおりである。

$$BSI = (\text{「上昇」と回答した企業構成比}) - (\text{「下降」と回答した企業構成比})$$

なお、BSIは景気の現状や先行きを「上昇」・「下降」といった前期と変化した方向で判断する指標である。BSIがプラスであれば、企業の景況や各種項目が前期と比較して好調であるということであり、BSIがマイナスであれば、景況や各種項目が前期と比較して不調と考えられる。

また、本調査は、比較的、小規模事業所までも網羅した調査となっている点が特徴である。

- ※ 本文中における、カッコ内()の数値は単位が特に記載されていない場合は、その業種、分野のBSIを示す。
- ※ 調査結果について、回答した割合を小数第二位で四捨五入しているため、各項目の合計が100%にならない場合がある。
- ※ 複数回答の場合は、構成比(パーセント計算)の和が100.0を超えるものがある。
- ※ 統計表においてnはサンプル数を表す。

(3)主要調査結果

回答企業属性

回答企業総数は447社。「その他のサービス業」が22.8% (102社)で最も多く、次いで「卸売・小売業」が18.3% (82社)、「建設業」が15.4% (69社)、「製造業」が10.7% (48社)、「旅行・宿泊業」が10.1% (45社)と続いている。

資本金別では「1000万円以上5000万円未満」が50.3% (225社)で最も多くなっている。

従業員数別では、「20人以上50人未満」が24.2% (108社)で最も多くなっている。100人未満の企業で79%を占めている。

地域別では、「中部地域」が39.1% (175社)で最も多くなっている。

■ 業種

項目	回答数 (n=447)	構成比 (%)
農業、林業、漁業	6	1.3
建設業	69	15.4
製造業	48	10.7
情報通信業	17	3.8
卸売・小売業	82	18.3
不動産業等	36	8.1
旅行・宿泊業	45	10.1
飲食サービス業	17	3.8
医療・福祉	21	4.7
その他のサービス業	102	22.8
その他	4	0.9
無回答	0	0.0

■ 資本金

項目	回答数 (n=447)	構成比 (%)
1000万円未満	107	23.9
1000万円以上5000万円未満	225	50.3
5000万円以上1億円未満	45	10.1
1億円以上	46	10.3
無回答	24	5.4

■ 従業員数

項目	回答数 (n=447)	構成比 (%)
10人未満	106	23.7
10人以上20人未満	79	17.7
20人以上50人未満	108	24.2
50人以上100人未満	60	13.4
100人以上	76	17.0
無回答	18	4.0

■ 地域

項目	回答数 (n=447)	構成比 (%)
北部	48	10.7
中部	175	39.1
南部	71	15.9
那覇	108	24.2
離島	45	10.1
無回答	0	0.0

■ 4-6月期の景況判断要因(1-3月期との比較) 全体 景況判断要因

- 4-6月期の景況が「上昇」したと回答した28社における景況上昇の要因は、県内需要が75.0%で最も多く、次いで県外需要と続いた。

4-6月期景況の上昇要因

項目	回答数 (n=28)	構成比 (%)
県内需要(売上)の動向	21	75.0
県外需要(売上)の動向	6	21.4
販売価格の動向	5	17.9
資金繰り・資金調達の動向	4	14.3
仕入れ価格の動向	3	10.7
海外需要(売上)の動向	1	3.6
株式・不動産等の資産価格の動向	1	3.6
為替レートの動向	1	3.6
仕入れ以外のコストの動向	0	0.0
その他	3	10.7
無回答	2	7.1

- 「下降」と回答した333社における景況下降の要因は、県内需要が76.0%で最も多く、次いで県外需要、海外需要と続いた。

4-6月期景況の下降要因

項目	回答数 (n=333)	構成比 (%)
県内需要(売上)の動向	253	76.0
県外需要(売上)の動向	117	35.1
海外需要(売上)の動向	73	21.9
仕入れ価格の動向	37	11.1
資金繰り・資金調達の動向	37	11.1
販売価格の動向	35	10.5
仕入れ以外のコストの動向	18	5.4
株式・不動産等の資産価格の動向	7	2.1
為替レートの動向	5	1.5
その他	57	17.1
無回答	8	2.4

■ 7-9月期の景況見通し判断要因(4-6月期との比較) 全体 景況見通し判断要因

- 7-9月期の見通しを「上昇」と見通した96社における上昇要因は、県内需要が77.1%で最も多く、次いで県外需要と続いた。

7-9月期景況の見通し: 上昇要因

項目	回答数 (n=96)	構成比 (%)
県内需要(売上)の動向	74	77.1
県外需要(売上)の動向	39	40.6
海外需要(売上)の動向	11	11.5
販売価格の動向	8	8.3
仕入れ価格の動向	5	5.2
仕入れ以外のコストの動向	0	0.0
資金繰り・資金調達の動向	3	3.1
株式・不動産等の資産価格の動向	0	0.0
為替レートの動向	1	1.0
その他	15	15.6
無回答	2	2.1

- 「下降」と見通した138社における下降要因は、県内需要が73.9%で最も多く、次いで県外需要、海外需要が続いた。

7-9月期景況の見通し: 下降要因

項目	回答数 (n=138)	構成比 (%)
県内需要(売上)の動向	102	73.9
県外需要(売上)の動向	62	44.9
海外需要(売上)の動向	29	21.0
販売価格の動向	16	11.6
仕入れ価格の動向	19	13.8
仕入れ以外のコストの動向	11	8.0
資金繰り・資金調達の動向	16	11.6
株式・不動産等の資産価格の動向	4	2.9
為替レートの動向	2	1.4
その他	20	14.5
無回答	2	1.4

【項目別 BSI】

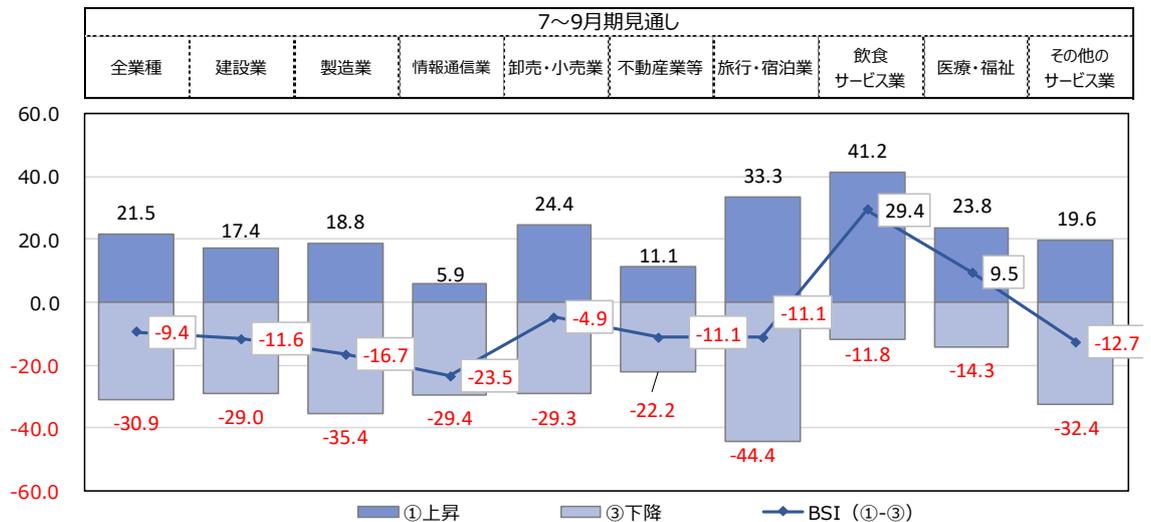
■ 4-6 月期の現状(1-3 月比較) **主要業種別** **実績**

- 全体では、-68.2 で「下降」超となっている。
- 下降超は、旅行・宿泊業(-100.0)、飲食サービス業(-100.0)、製造業(-83.3)、その他サービス業(-67.6)、卸売・小売業(-64.6)、医療・福祉(-61.9)、建設業(-53.6)、不動産業(-44.4)、情報通信業(-41.2)となっている。



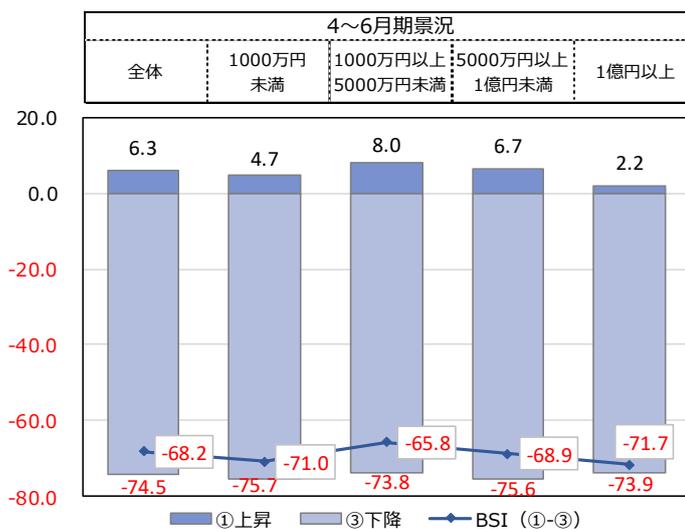
■ 7-9 月期の見通し(4-6 月比較) **主要業種別** **見通し**

- 全体では、-9.4 で「下降」超となっている。
- 「上昇」超は、飲食サービス業(29.4)、医療・福祉(9.5)となっている。
- 「下降」超は、情報通信業(-23.5)、製造業(-16.7)、その他のサービス業(-12.7)、建設業(-11.6)、不動産業等(-11.1)、旅行・宿泊業(-11.1)、卸売・小売業(-4.9)となっている。



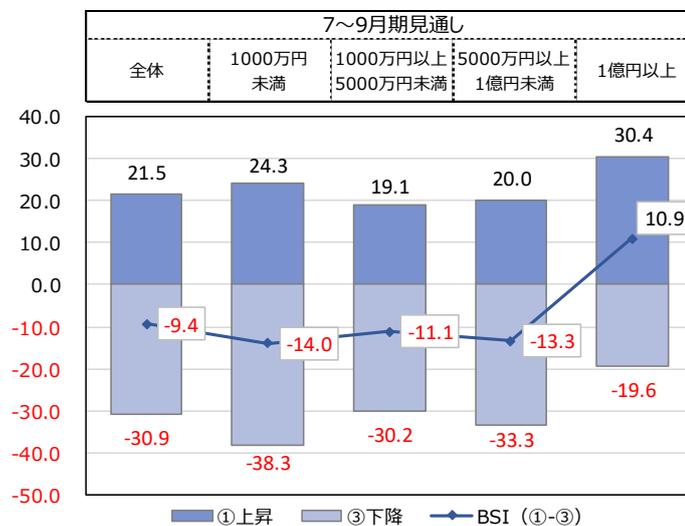
■ 4-6 月期の現状(1-3 月比較) **資本金別** **実績**

➤ 4-6月期の景況は、すべてのカテゴリで「下降」超となっている。



■ 7-9月期の見通し(4-6月比較) **資本金別** **見通し**

➤ 7-9月期の見通しについては、「1億円以上」を除く、すべてのカテゴリで「下降」超となっている。



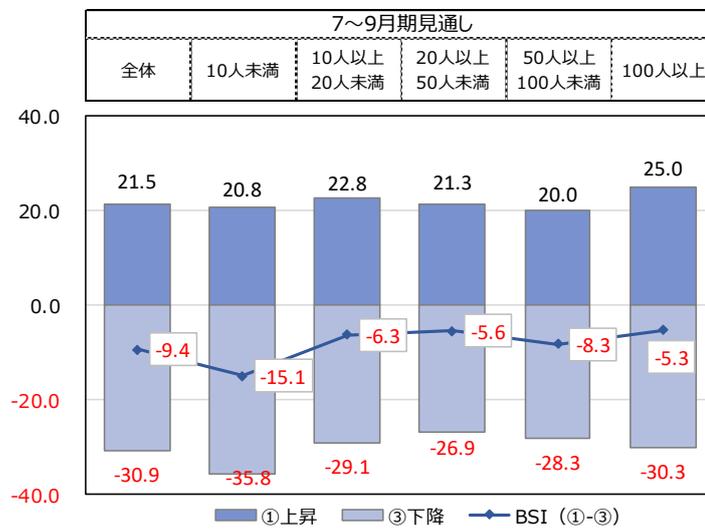
■ 4-6月期の現状(1-3月比較) **従業員数別** **実績**

➤ 4-6月期の景況は、すべてのカテゴリーで「下降」超となっている。



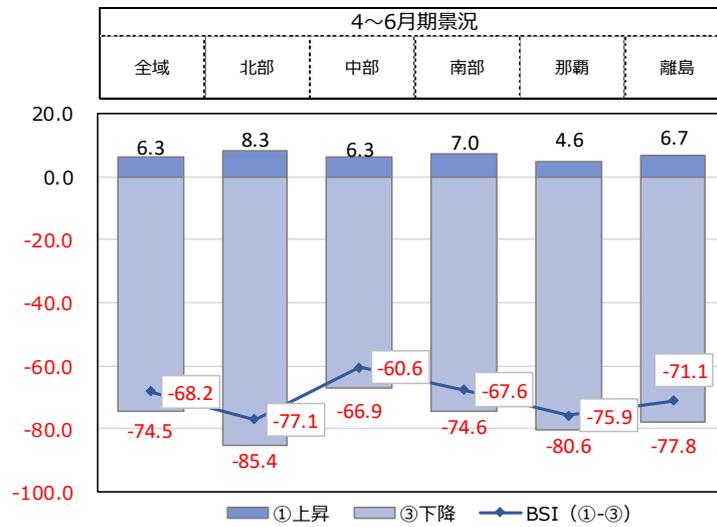
■ 7-9月期の見通し(4-6月比較) **従業員数別** **見通し**

➤ 7-9月期の見通しについては、すべてのカテゴリーで「下降」超となっている。



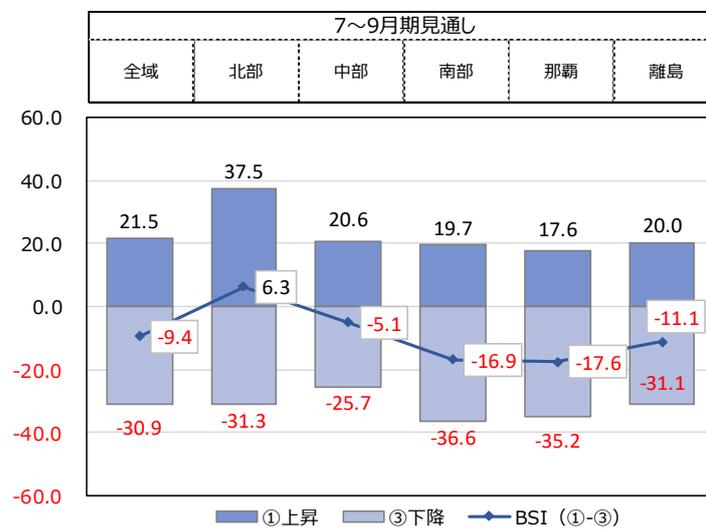
■ 4-6月期の現状(1-3月比較) **地域別** **実績**

- 4-6月期の景況は、全てのカテゴリで「下降」超となっている。
-



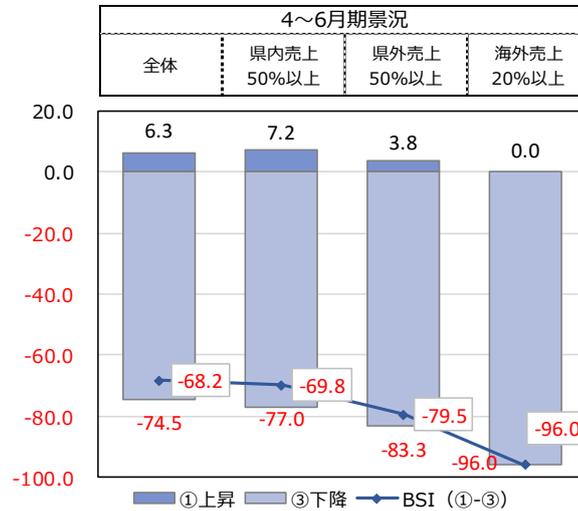
■ 7-9月期の見通し(4-6月比較) **地域別** **見通し**

- 7-9月期の景況見通しは、北部のみ「上昇」超。その他は、すべてのカテゴリで「下降」超となっている。
-



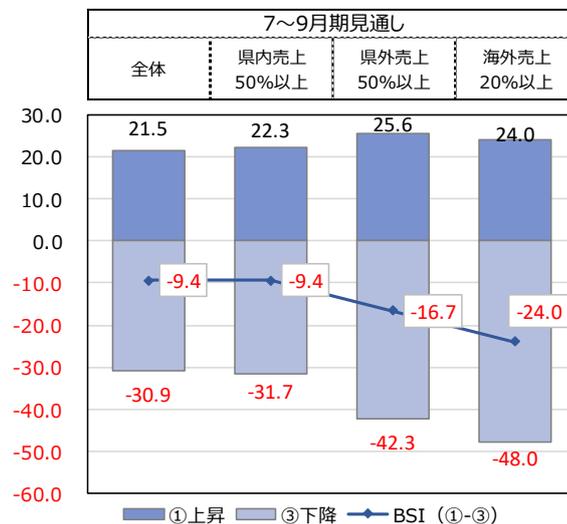
■ 4-6月期の現状(1-3月比較) **売上先マーケット別** **実績**

- 4-6月期の景況は、全てのカテゴリーでの「下降」超となっている。
- 特に海外や県外売上の多い企業で、「下降」が多くなっている。
-



■ 7-9月期の見通し(4-6月比較) **売上先マーケット別** **見通し**

- 7-9月期の景況見通しは、全てのカテゴリーで「下降」超となっている。
- 特に海外や県外売上の多い企業で、「下降」が多くなっている。
-



【主要業種別集計】

■ 4-6月期の現状(1-3月比較) **建設業** **実績**

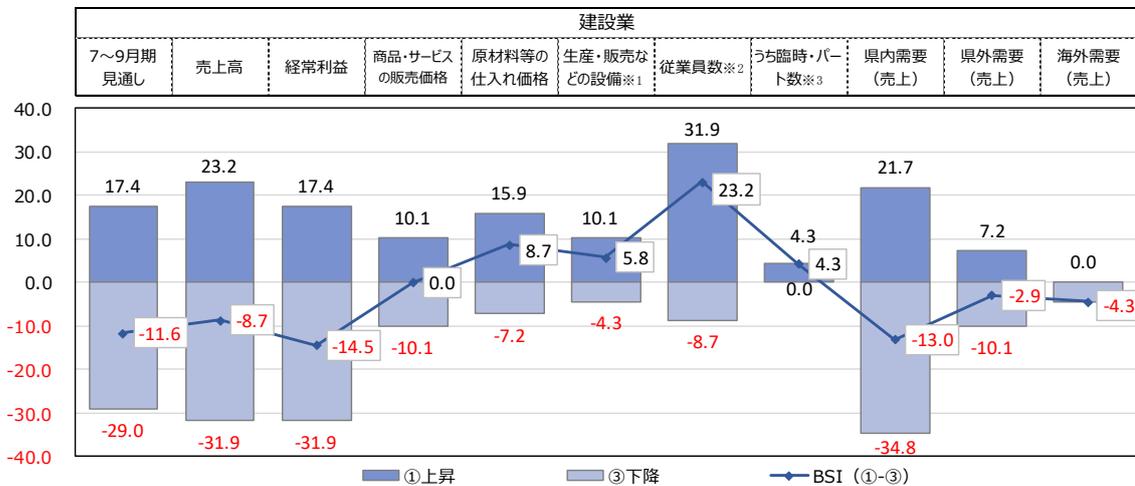
- 4-6月期の景況は-53.6で「下降」超となっている。経常利益(-59.4)、売上高(-58.0)共に「下降」超となっている。
- 県内需要(-53.6)、県外需要(-7.2)、海外需要(-1.4)共に「下降」超となっている。
- 従業員数(26.1)は、「不足気味」超、原材料の仕入れ価格(8.7)は「上昇」超となっている。



※1 生産・販売などの設備については ①不足 ②適正 ③過大
 ※2 従業員数については ①不足気味 ②適正 ③過剰気味
 ※3 うち臨時・パート数については ①増加 ②不変 ③減少

■ 7-9月期の見通し(4-6月比較) **建設業** **見通し**

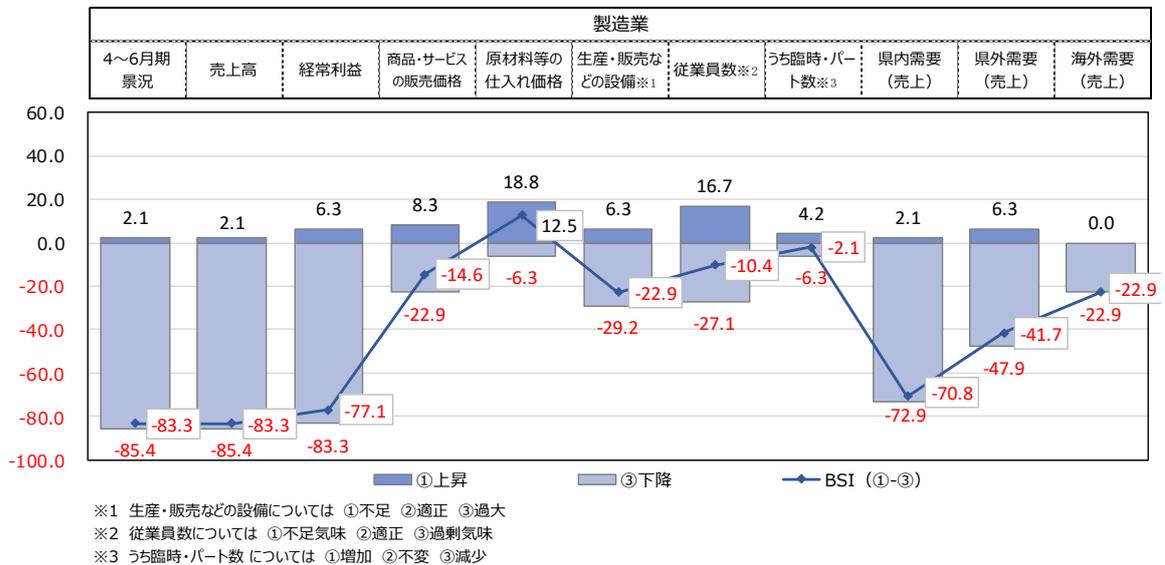
- 7-9月期の景況見通しは-11.6で「下降」超の見通し。経常利益(-14.5)、売上高(-8.7)共に「下降」超となっている。
- 県内需要(-13.0)の下降幅が大きくなっている。
- 従業員数(23.2)は「不足気味」が続き、原材料等の仕入れ価格(8.7)も「上昇」超が続く見通しとなっている。



※1 生産・販売などの設備については ①不足 ②適正 ③過大
 ※2 従業員数については ①不足気味 ②適正 ③過剰気味
 ※3 うち臨時・パート数については ①増加 ②不変 ③減少

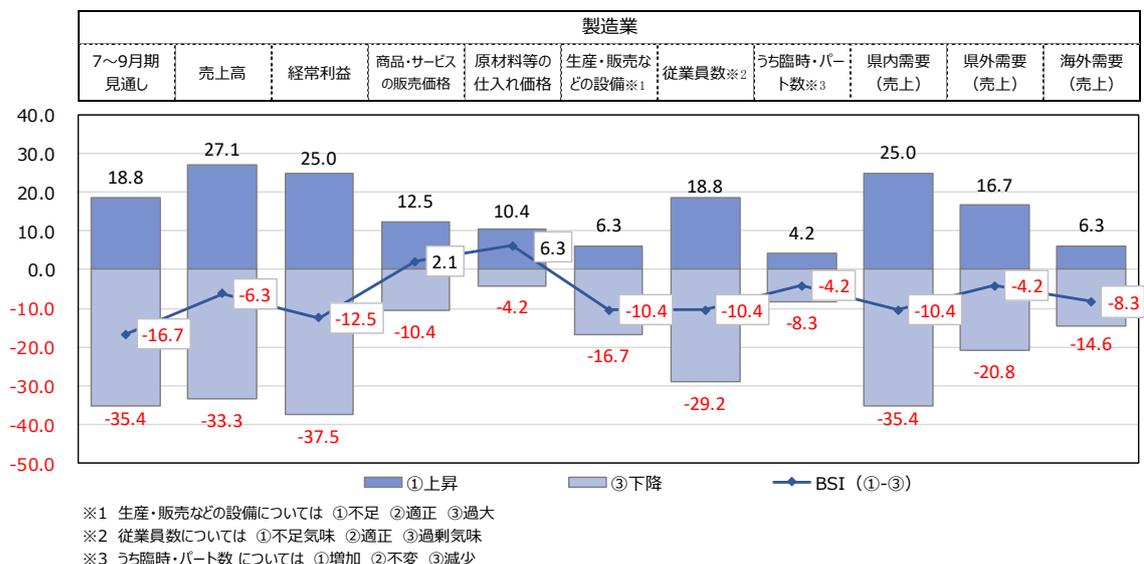
4-6月期の現状(1-3月比較) **製造業** **実績**

- 4-6月期の景況は-83.3で大幅な「下降」超となっている。売上高(-83.3)、経常利益(-77.1)共、大きく「下降」超となっている。
- 県内需要(-70.8)、県外需要(-41.7)、海外需要(-22.9)が「下降」超となっている。
- 従業員数(-10.4)が「過剰気味」超となっている。
- 原材料等の仕入れ価格(12.5)が「上昇」超となっている。



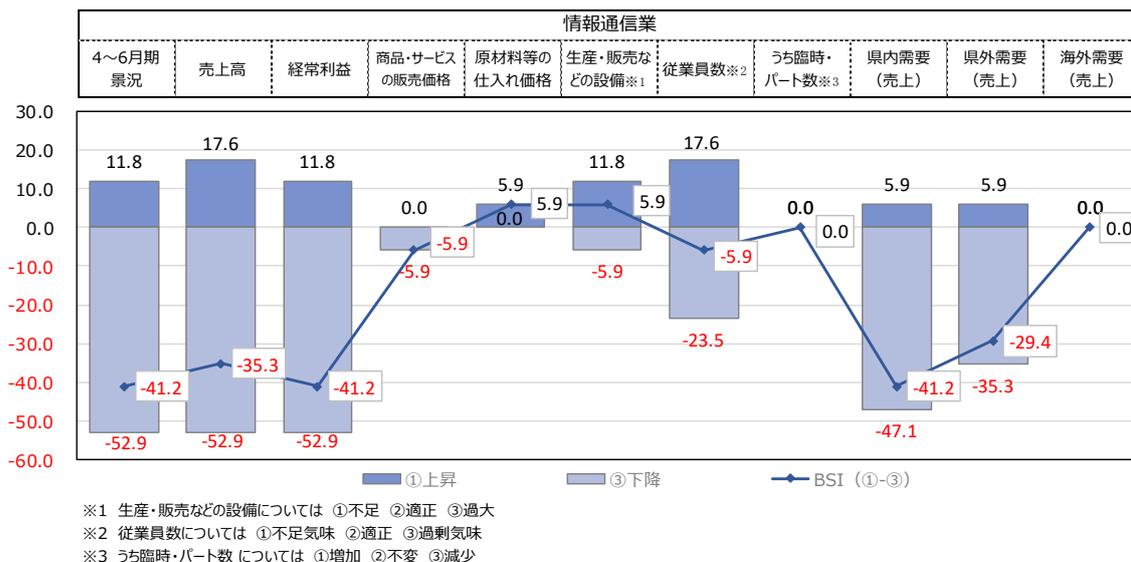
7-9月期の見通し(4-6月比較) **製造業** **見通し**

- 7-9月期の景況見通しは-16.7で「下降」超の見通しとなっている。経常利益(-12.5)、売上高(-6.3)共、「下降」超となっている。
- 県内需要(-10.4)、海外需要(-8.3)、県外需要(-4.2)が「下降」超となっている。
- 従業員数(-10.4)が「過剰気味」超となっている。
- 原材料等の仕入れ価格(6.3)が「上昇」の見通しとなっている。



■ 4-6月期の現状(1-3月比較) **情報通信業** **実績**

- 4-6月期の景況は-41.2で「下降」超となっている。経常利益(-41.2)、売上高(-35.3)が「下降」超となっている。
- 県内需要(-41.2)、県外需要(-29.4)が「下降」超となっている。
- 従業員数(-5.9)が「過剰気味」超となっている。
- 原材料等の仕入れ価格(5.9)が「上昇」超、生産・販売などの設備(5.9)が「不足」超となっている。



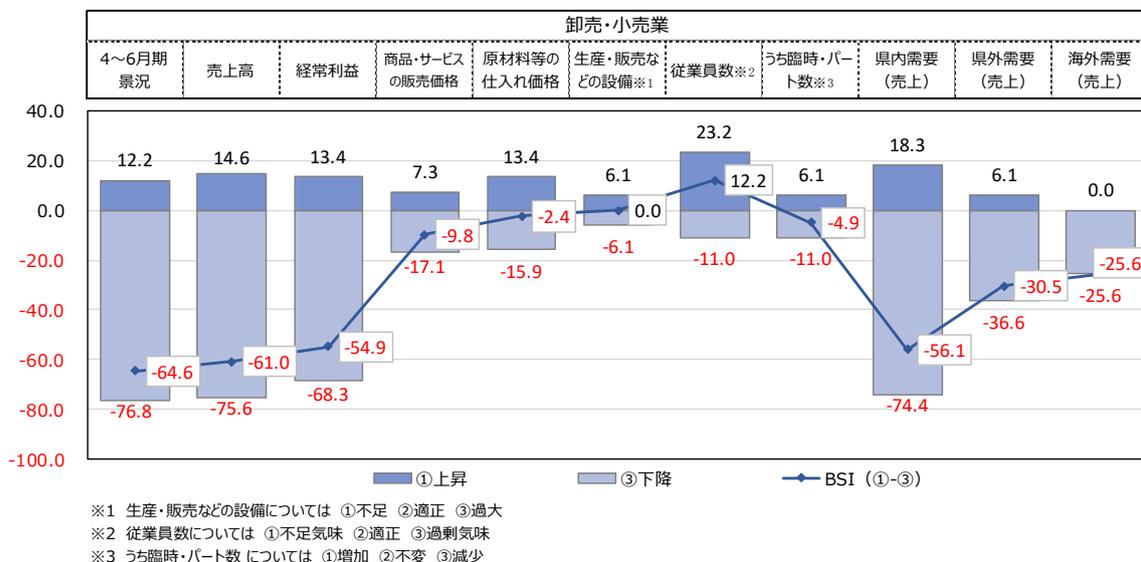
■ 7-9月期の見通し(4-6月比較) **情報通信業** **見通し**

- 7-9月期の景況見通しは-23.5で「下降」超となっている。経常利益(-41.2)、売上高(-35.3)共に「下降」超の見通しである。
- 県内需要(-35.3)、県外需要(-11.8)が「下降」超となっている。
- 生産・販売などの設備(5.9)は「不足」超の見通しとなっている。



■ 4-6月期の現状(1-3月比較) **卸売・小売業** **実績**

- 4-6月期の景況は-64.6で「下降」超となっている。売上高(-61.0)、経常利益(-54.9)共に「下降」超となっている。
- 県内需要(-56.1)、県外需要(-30.5)、海外需要(-25.6)共に「下降」超となっている。
- 従業員数(12.2)は「不足気味」超となっている。



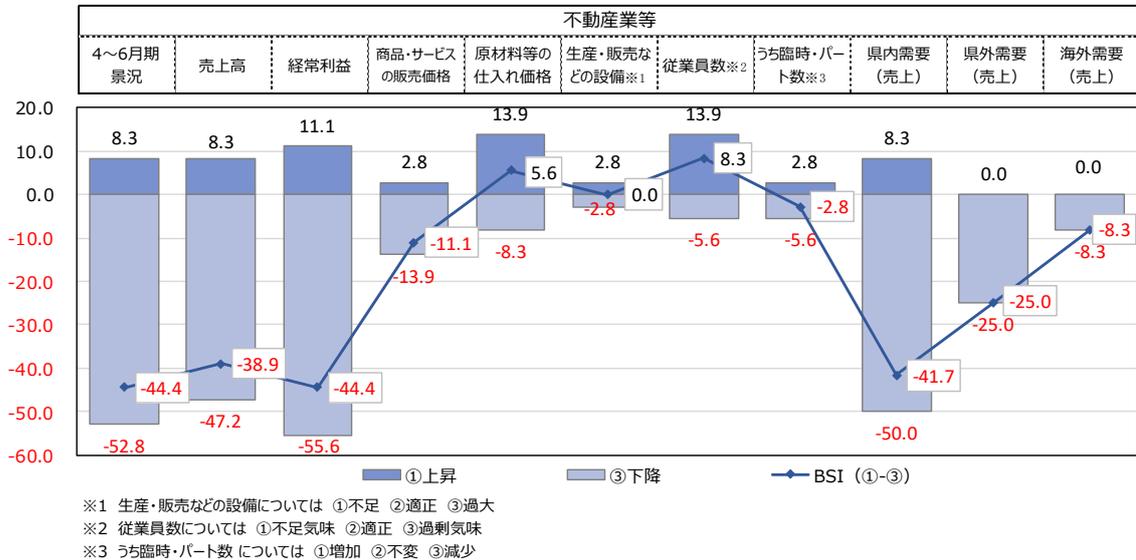
■ 7-9月期の見通し(4-6月比較) **卸売・小売業** **見通し**

- 7-9月期の景況見通しは-4.9で「下降」超となっている。売上高(4.9)が「上昇」超となっている。
- 県内需要(7.3)、県外需要(7.3)共に「上昇」超となっている。
- 原材料の仕入れ価格(20.7)は「上昇」の見通しとなっている。
- 従業員数(13.4)は「不足気味」超となっている。



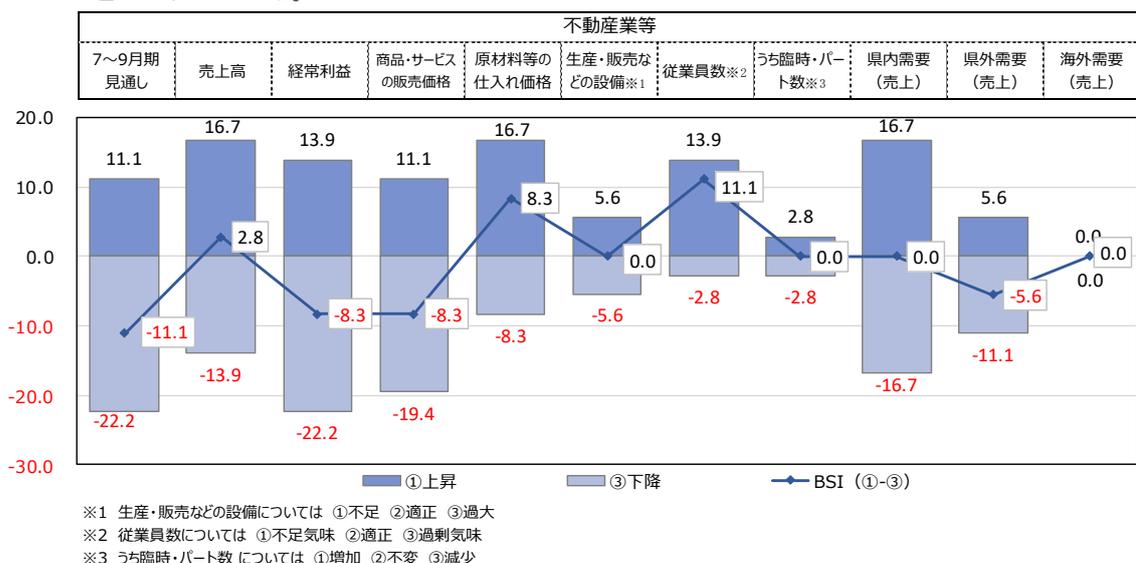
■ 4-6月期の現状(1-3月比較) **不動産業等** **実績**

- 4-6月期の景況は-44.4で「下降」超となっている。経常利益(-44.4)、売上高(38.9)共に「下降」超となっている。
- 県内需要(-41.7)は大きく「下降」超。県外需要(-25.0)、海外需要(-8.3)も共に「下降」超となっている。
- 従業員数(8.3)は「不足気味」超、原材料の仕入れ価格(5.6)も「上昇」超となっている。



■ 7-9月期の見通し(4-6月比較) **不動産業等** **見通し**

- 7-9月期の景況見通しは-11.1で「下降」超となっている。売上高(2.8)は「上昇」だが、経常利益(-8.3)、商品・サービス販売価格(-8.3)共に「下降」超となっている。
- 県外需要(-5.6)は「下降」超の見通しである。
- 従業員数(11.1)は「不足気味」超、原材料等の仕入れ価格(8.3)も「上昇」超が続く見通しとなっている。



■ 4-6月期の現状(1-3月比較) **旅行・宿泊業** **実績**

- 4-6月期の景況は-100.0で、全ての企業が「下降」超となっている。売上高(-95.6)、経常利益(-93.3)、商品・サービスの販売価格(-53.3)共に「下降」超となっている。
- 県内需要(-88.9)、県外需要(-84.4)、海外需要(-68.9)共に大幅な「下降」超となっている。
- 従業員数(-53.3)は、大幅に「過剰気味」超となっている。



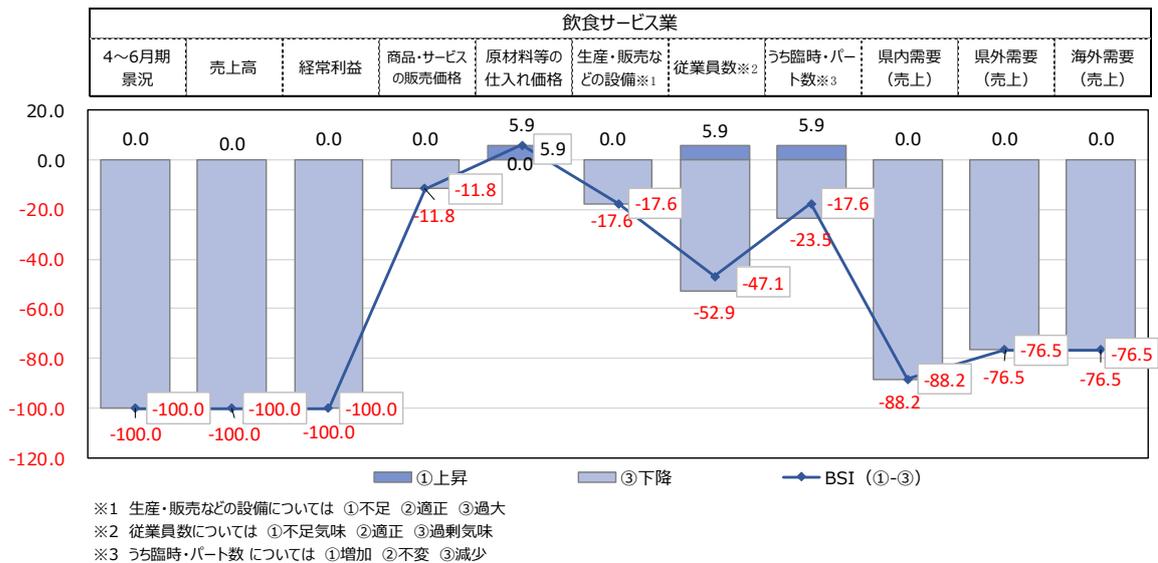
■ 7-9月期の見通し(4-6月比較) **旅行・宿泊業** **見通し**

- 7-9月期の景況見通しは-11.1で「下降」超となっているが、売上高(4.4)と経常利益(2.2)は、共に「上昇」超となっている。
- 県内需要(4.4)、県外需要(2.2)、が上昇超、海外需要(-15.6)は「下降」超の見通しとなっている。
- 従業員数(-35.6)は「過剰気味」超の見通しとなっている。



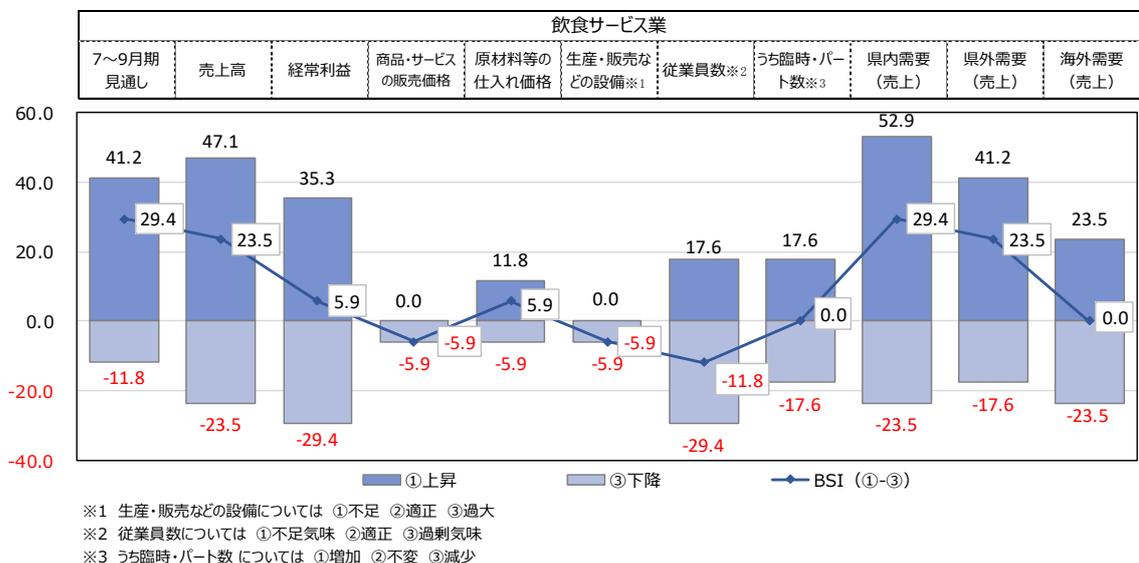
■ 4-6月期の現状(1-3月比較) **飲食サービス業** **実績**

- 4-6月期の景況は-100.0で全ての企業が「下降」超となっている。売上高(-100.0)、経常利益(-100.0)共に全ての企業が「下降」超となっている。
- 県内需要(-88.2)、県外需要(-76.5)、海外需要(-76.5)共に大幅な「下降」超となっている。
- 従業員数(-47.1)は大幅な「過剰気味」超となっている。
-



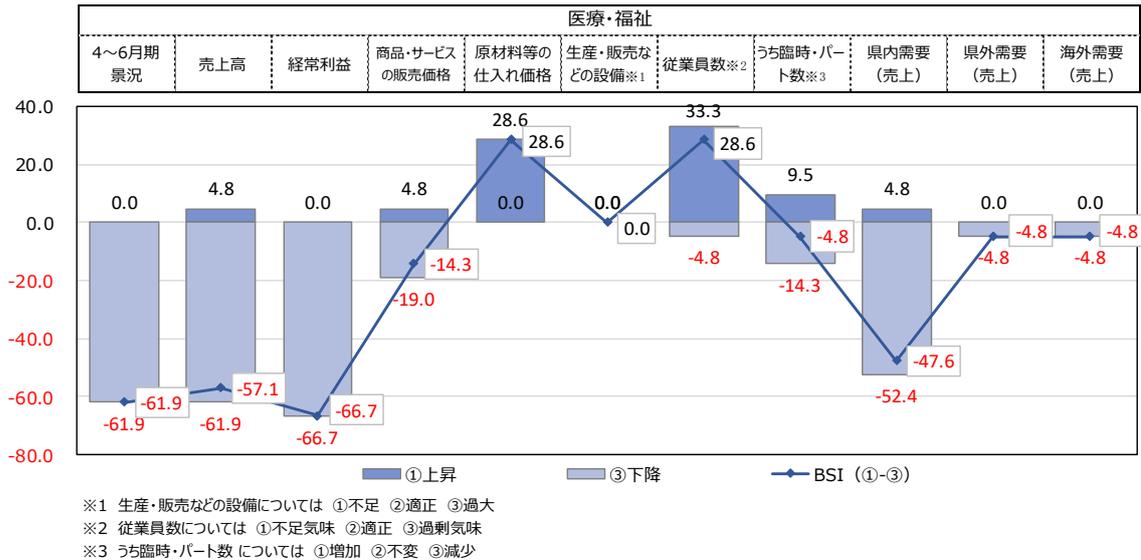
■ 7-9月期の見通し(4-6月比較) **飲食サービス業** **見通し**

- 7-9月期の景況見通しは29.4で、「上昇」超となっている。売上高(23.5)、経常利益(5.9)共に「上昇」超となっている。
- 県内需要(29.4)、県外需要(23.5)共に「上昇」超となる見通しである。
- 従業員数(-11.8)は「過剰気味」超が続く見通し。原材料等の仕入れ価格(5.9)も「上昇」超の見通しとなっている。
-



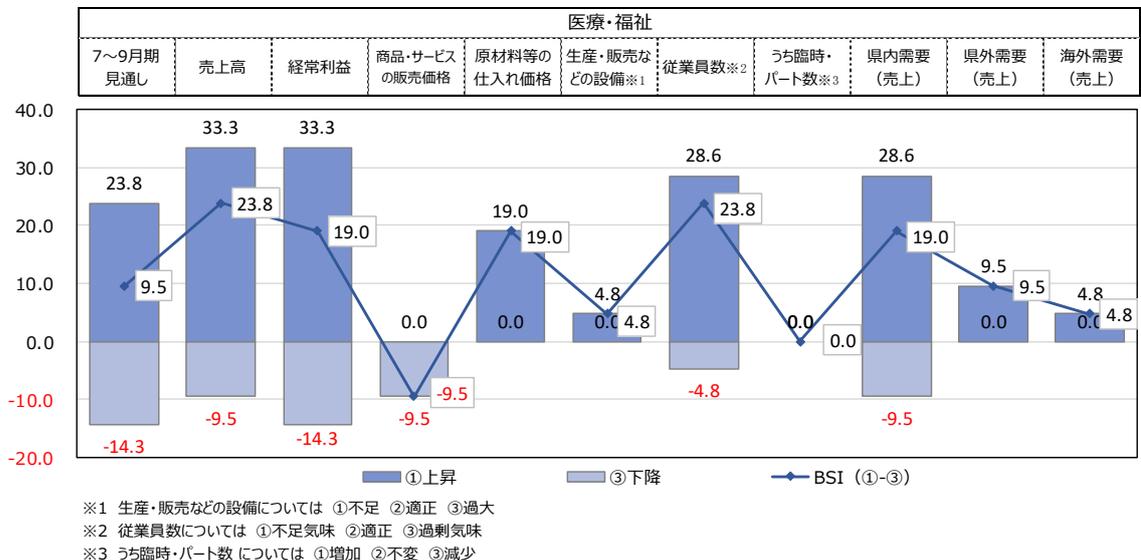
■ 4-6月期の現状(1-3月比較) **医療・福祉** **実績**

- 4-6月期の景況は-61.9で大幅な「下降」超となっている。経常利益(-66.7)、売上高(-57.1)共に「下降」超となっている。
- 県内需要(-47.6)が大幅な「下降」超。県外需要(-4.8)、海外需要(-4.8)も共に「下降」超となっている。
- 従業員数(28.6)は「不足気味」超。原材料等の仕入れ価格(28.6)は「上昇」超となっている。



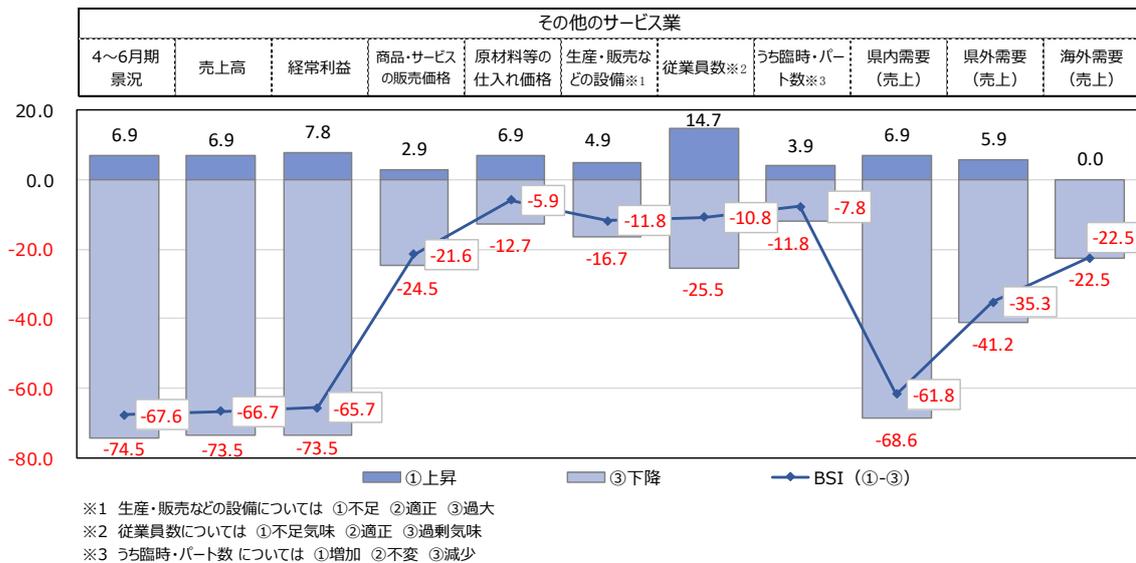
■ 7-9月期の見通し(4-6月比較) **医療・福祉** **見通し**

- 7-9月期の見通しは9.5で「上昇」超となっている。売上高(23.8)、経常利益(19.0)共に「上昇」超となっている。
- 県内需要(19.0)、県外需要(9.5)、海外需要(4.8)が「上昇」超となる見通しである。
- 従業員数(23.8)は「不足気味」が続く見通しとなっている。



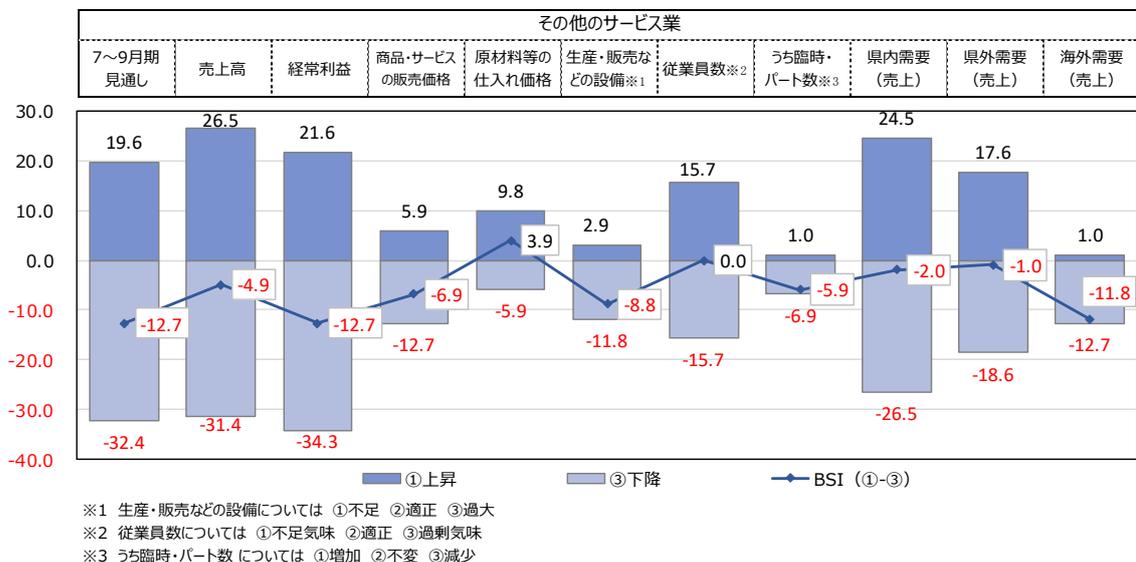
■ 4-6月期の現状(1-3月比較) **その他のサービス業** **実績**

- 4-6月期の景況は-67.6で大幅な「下降」超となっている。売上高(-66.7)、経常利益(-65.7)共に大きく「下降」超となっている。
- 県内需要(-61.8)は大幅な「下降」超。県外需要(-35.3)、海外需要(-22.5)も共に「下降」超となっている。
- 従業員数(10.8)は「過剰気味」超となっている。



■ 7-9月期の見通し(4-6月比較) **その他のサービス業** **見通し**

- 7-9月期の景況見通しは-12.7で「下降」超となっている。売上高(-4.9)、経常利益(-12.7)共に「下降」超となっている。
- 県内需要(-2.0)、県外需要(-1.0)、海外需要(-11.8)共に「下降」超となる見通しである。



主要業種別・項目別 BSI 一覧表

■全業種BSI

時期	2018年		2019年				2020年			
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期		7-9月期
	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	見通し	調査実績	見通し
景況BSI	14.6	11.7	5.2	4.7	12.3	-1.4	-36.9	-38.4	-68.2	-9.4
売上高	16.0	11.7	3.2	5.8	19.4	4.1	-29.3	-35.2	-66.7	-1.8
経常利益	5.3	4.9	-1.2	0.0	12.5	-2.5	-31.8	-35.2	-65.5	-8.3
商品・サービスの販売価格	11.5	9.8	6.9	10.7	8.3	9.3	-5.1	-11.0	-18.8	-2.5
原材料等の仕入れ価格	31.5	27.6	27.1	27.3	22.8	26.9	13.7	11.0	2.2	8.5
生産・販売などの設備	12.9	11.7	11.0	9.4	11.1	12.9	4.2	4.6	-6.5	-2.0
従業員数	52.2	50.1	51.3	47.1	50.4	44.5	32.8	26.4	-2.9	2.7
うち臨時・パート	1.1	2.4	-1.4	0.6	1.4	1.1	-2.2	-5.4	-5.6	-2.2
県内需要(売上)	13.8	13.8	3.7	5.0	10.3	2.5	-29.8	-31.1	-61.3	-1.6
県外需要(売上)	9.0	5.1	0.6	7.2	6.6	-2.7	-28.1	-20.8	-34.5	0.7
海外需要(売上)	2.8	-1.9	-2.9	1.9	-2.3	-7.1	-23.2	-17.4	-23.5	-5.8

■建設業BSI

時期	2018年		2019年				2020年			
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期		7-9月期
	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	見通し	調査実績	見通し
景況BSI	18.2	31.0	24.0	8.2	3.8	12.1	-1.3	-24.0	-53.6	-11.6
売上高	14.5	37.9	20.0	0.0	5.7	15.5	1.3	-21.3	-58.0	-8.7
経常利益	0.0	27.6	16.0	-6.6	3.8	5.2	-4.0	-22.7	-59.4	-14.5
商品・サービスの販売価格	12.7	25.9	8.0	8.2	9.4	10.3	5.3	-6.7	-14.5	0.0
原材料等の仕入れ価格	36.4	43.1	30.0	26.2	28.3	27.6	21.3	22.7	8.7	8.7
生産・販売などの設備	12.7	13.8	16.0	8.2	11.3	19.0	9.3	8.0	1.4	5.8
従業員数	56.4	62.1	70.0	57.4	64.2	53.4	56.0	40.0	26.1	23.2
うち臨時・パート	5.5	6.9	2.0	6.6	1.9	3.4	6.7	4.0	2.9	4.3
県内需要(売上)	16.4	37.9	22.0	1.6	9.4	10.3	-4.0	-22.7	-53.6	-13.0
県外需要(売上)	5.5	8.6	6.0	6.6	1.9	3.4	-4.0	-2.7	-7.2	-2.9
海外需要(売上)	0.0	0.0	2.0	0.0	-1.9	0.0	-2.7	0.0	-1.4	-4.3

■製造業BSI

時期	2018年		2019年				2020年			
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期		7-9月期
	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	見通し	調査実績	見通し
景況BSI	15.9	-10.3	-19.0	5.3	20.9	8.2	-60.5	-34.9	-83.3	-16.7
売上高	18.2	0.0	-11.9	18.4	27.9	22.4	-60.5	-27.9	-83.3	-6.3
経常利益	4.5	-17.9	-16.7	7.9	25.6	0.0	-51.2	-20.9	-77.1	-12.5
商品・サービスの販売価格	6.8	5.1	16.7	7.9	0.0	12.2	-7.0	-2.3	-14.6	2.1
原材料等の仕入れ価格	27.3	35.9	45.2	39.5	46.5	40.8	20.9	16.3	12.5	6.3
生産・販売などの設備	18.2	12.8	14.3	2.6	9.3	6.1	2.3	-4.7	-22.9	-10.4
従業員数	36.4	28.2	40.5	26.3	41.9	34.7	27.9	20.9	-10.4	-10.4
うち臨時・パート	0.0	-2.6	-14.3	-2.6	-2.3	-2.0	-2.3	-9.3	-2.1	-4.2
県内需要(売上)	13.6	0.0	-14.3	7.9	16.3	8.2	-65.1	-34.9	-70.8	-10.4
県外需要(売上)	4.5	2.6	-14.3	5.3	14.0	0.0	-44.2	-18.6	-41.7	-4.2
海外需要(売上)	4.5	2.6	0.0	0.0	4.7	0.0	-11.6	-14.0	-22.9	-8.3

■情報通信業BSI

時期	2018年		2019年				2020年			
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期		7-9月期
	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	見通し	調査実績	見通し
景況BSI	-5.3	33.3	17.6	0.0	5.9	0.0	5.6	-11.1	-41.2	-23.5
売上高	0.0	25.0	5.9	-5.9	-5.9	6.3	5.6	-27.8	-35.3	-35.3
経常利益	-5.3	50.0	-17.6	-11.8	-17.6	-12.5	0.0	-16.7	-41.2	-41.2
商品・サービスの販売価格	0.0	0.0	5.9	11.8	0.0	0.0	0.0	5.6	-5.9	-11.8
原材料等の仕入れ価格	-5.3	8.3	17.6	11.8	0.0	12.5	11.1	5.6	5.9	-5.9
生産・販売などの設備	-5.3	8.3	5.9	29.4	11.8	12.5	0.0	5.6	5.9	5.9
従業員数	21.1	75.0	64.7	64.7	70.6	68.8	77.8	61.1	-5.9	0.0
うち臨時・パート	10.5	8.3	0.0	5.9	11.8	6.3	16.7	11.1	0.0	0.0
県内需要(売上)	-5.3	50.0	5.9	5.9	0.0	0.0	-11.1	-33.3	-41.2	-35.3
県外需要(売上)	10.5	50.0	-5.9	-11.8	-17.6	18.8	-5.6	0.0	-29.4	-11.8
海外需要(売上)	0.0	0.0	0.0	-5.9	0.0	0.0	0.0	-5.6	0.0	0.0

■卸売・小売業BSI

時期	2018年		2019年				2020年			
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期		7-9月期
	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	見通し	調査実績	見通し
景況BSI	20.0	17.1	-3.3	-3.0	25.8	-8.2	-34.7	-45.3	-64.6	-4.9
売上高	20.0	14.3	-13.3	0.0	33.3	0.0	-29.3	-41.3	-61.0	4.9
経常利益	10.7	5.7	-11.7	-4.5	25.8	-1.6	-30.7	-38.7	-54.9	0.0
商品・サービスの販売価格	22.7	7.1	6.7	9.0	10.6	18.0	2.7	-10.7	-9.8	7.3
原材料等の仕入れ価格	38.7	14.3	26.7	25.4	9.1	29.5	17.3	2.7	-2.4	20.7
生産・販売などの設備	9.3	10.0	11.7	6.0	13.6	11.5	6.7	8.0	0.0	3.7
従業員数	62.7	54.3	53.3	49.3	50.0	47.5	36.0	36.0	12.2	13.4
うち臨時・パート	-9.3	-1.4	-6.7	0.0	-6.1	9.8	-2.7	-4.0	-4.9	0.0
県内需要(売上)	21.3	8.6	-8.3	-1.5	13.6	-3.3	-28.0	-37.3	-56.1	7.3
県外需要(売上)	9.3	-4.3	-3.3	3.0	7.6	-3.3	-18.7	-16.0	-30.5	7.3
海外需要(売上)	1.3	-1.4	-3.3	4.5	6.1	-1.6	-24.0	-14.7	-25.6	0.0

■不動産業等BSI

時期	2018年		2019年				2020年			
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期		7-9月期
	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	見通し	調査実績	見通し
景況BSI	22.2	20.0	24.2	11.8	-5.9	-15.6	-16.1	-45.2	-44.4	-11.1
売上高	18.5	11.4	12.1	8.8	2.9	0.0	9.7	-25.8	-38.9	2.8
経常利益	7.4	14.3	15.2	-2.9	-8.8	-6.3	-6.5	-35.5	-44.4	-8.3
商品・サービスの販売価格	14.8	20.0	15.2	11.8	0.0	6.3	6.5	-12.9	-11.1	-8.3
原材料等の仕入れ価格	37.0	34.3	36.4	35.3	23.5	9.4	12.9	6.5	5.6	8.3
生産・販売などの設備	7.4	8.6	6.1	17.6	5.9	9.4	3.2	3.2	0.0	0.0
従業員数	33.3	28.6	30.3	29.4	14.7	18.8	22.6	16.1	8.3	11.1
うち臨時・パート	7.4	8.6	6.1	2.9	0.0	-3.1	0.0	0.0	-2.8	0.0
県内需要(売上)	18.5	20.0	12.1	11.8	-8.8	-12.5	0.0	-38.7	-41.7	0.0
県外需要(売上)	22.2	11.4	9.1	5.9	0.0	-9.4	-9.7	-29.0	-25.0	-5.6
海外需要(売上)	7.4	8.6	-9.1	0.0	-14.7	-3.1	-12.9	-12.9	-8.3	0.0

■旅行・宿泊業BSI

時期	2018年		2019年				2020年			
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	4-6月期	7-9月期
	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	見通し	調査実績	見通し
景況BSI	64.0	-16.2	-20.8	20.0	20.8	-67.7	-91.1	-82.2	-100.0	-11.1
売上高	76.0	-27.0	-25.0	26.7	37.5	-67.7	-84.4	-62.2	-95.6	4.4
経常利益	64.0	-18.9	-20.8	23.3	33.3	-67.7	-86.7	-60.0	-93.3	2.2
商品・サービスの販売価格	44.0	-8.1	-16.7	23.3	37.5	-25.8	-46.7	-40.0	-53.3	-4.4
原材料等の仕入れ価格	44.0	27.0	33.3	33.3	45.8	38.7	6.7	6.7	-8.9	2.2
生産・販売などの設備	28.0	8.1	4.2	6.7	8.3	12.9	0.0	0.0	-13.3	-6.7
従業員数	72.0	54.1	54.2	43.3	50.0	48.4	-13.3	-15.6	-53.3	-35.6
うち臨時・パート	-4.0	-13.5	-4.2	-10.0	12.5	-19.4	-20.0	-28.9	-17.8	-11.1
県内需要(売上)	36.0	-8.1	-12.5	13.3	20.8	-38.7	-64.4	-44.4	-88.9	4.4
県外需要(売上)	52.0	-13.5	-4.2	23.3	33.3	-54.8	-84.4	-62.2	-84.4	2.2
海外需要(売上)	24.0	-16.2	-33.3	0.0	-33.3	-58.1	-82.2	-60.0	-68.9	-15.6

■飲食サービス業BSI

時期	2018年		2019年				2020年			
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期		7-9月期
	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	見通し	調査実績	見通し
景況BSI	0.0	-44.4	10.0	-7.7	30.0	-6.7	-75.0	-58.3	-100.0	29.4
売上高	0.0	-44.4	30.0	-7.7	50.0	-26.7	-58.3	-50.0	-100.0	23.5
経常利益	10.0	-44.4	0.0	-7.7	40.0	-20.0	-66.7	-50.0	-100.0	5.9
商品・サービスの販売価格	0.0	22.2	20.0	23.1	10.0	6.7	-8.3	8.3	-11.8	-5.9
原材料等の仕入れ価格	60.0	44.4	30.0	23.1	30.0	33.3	8.3	25.0	5.9	5.9
生産・販売などの設備	20.0	11.1	30.0	15.4	20.0	26.7	-8.3	0.0	-17.6	-5.9
従業員数	90.0	22.2	50.0	76.9	70.0	33.3	-8.3	8.3	-47.1	-11.8
うち臨時・パート	-50.0	-11.1	-20.0	-15.4	-10.0	0.0	-8.3	-16.7	-17.6	0.0
県内需要(売上)	20.0	-55.6	10.0	-15.4	10.0	6.7	-25.0	-25.0	-88.2	29.4
県外需要(売上)	20.0	-33.3	-20.0	7.7	20.0	-13.3	-58.3	-50.0	-76.5	23.5
海外需要(売上)	0.0	-22.2	10.0	7.7	-10.0	-26.7	-66.7	-75.0	-76.5	0.0

■医療・福祉BSI

時期	2018年		2019年				2020年			
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期		7-9月期
	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	見通し	調査実績	見通し
景況BSI	8.7	4.2	-13.6	-18.8	4.8	11.8	-50.0	11.1	-61.9	9.5
売上高	17.4	12.5	-22.7	-18.8	23.8	35.3	-38.9	0.0	-57.1	23.8
経常利益	13.0	-12.5	-27.3	-31.3	4.8	29.4	-44.4	-5.6	-66.7	19.0
商品・サービスの販売価格	0.0	4.2	-4.5	-6.3	0.0	5.9	5.6	0.0	-14.3	-9.5
原材料等の仕入れ価格	26.1	12.5	0.0	12.5	9.5	23.5	22.2	16.7	28.6	19.0
生産・販売などの設備	13.0	4.2	4.5	-6.3	19.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8
従業員数	43.5	45.8	50.0	31.3	57.1	29.4	44.4	27.8	28.6	23.8
うち臨時・パート	26.1	33.3	-9.1	12.5	9.5	-5.9	-5.6	5.6	-4.8	0.0
県内需要(売上)	17.4	16.7	-9.1	-6.3	9.5	29.4	-33.3	16.7	-47.6	19.0
県外需要(売上)	0.0	0.0	0.0	-6.3	0.0	5.9	-5.6	5.6	-4.8	9.5
海外需要(売上)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-4.8	4.8

■その他のサービス業BSI

時期	2018年		2019年				2020年			
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期		7-9月期
	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	調査実績	見通し	調査実績	見通し
景況BSI	-2.9	13.5	14.5	9.6	8.3	7.1	-36.9	-35.7	-67.6	-12.7
売上高	0.0	12.2	18.4	11.0	11.1	5.4	-28.6	-44.0	-66.7	-4.9
経常利益	-14.7	6.8	13.2	11.0	5.6	3.6	-28.6	-47.6	-65.7	-12.7
商品・サービスの販売価格	0.0	5.4	6.6	13.7	9.7	17.9	-7.1	-14.3	-21.6	-6.9
原材料等の仕入れ価格	26.5	25.7	19.7	24.7	18.1	26.8	6.0	7.1	-5.9	3.9
生産・販売などの設備	17.6	13.5	11.8	11.0	12.5	14.3	3.6	7.1	-11.8	-8.8
従業員数	52.9	58.1	51.3	54.8	55.6	42.9	34.5	29.8	-10.8	0.0
うち臨時・パート	7.4	-1.4	3.9	2.7	5.6	3.6	-3.6	-6.0	-7.8	-5.9
県内需要(売上)	1.5	10.8	14.5	11.0	12.5	7.1	-33.3	-32.1	-61.8	-2.0
県外需要(売上)	-4.4	12.2	9.2	16.4	4.2	7.1	-29.8	-22.6	-35.3	-1.0
海外需要(売上)	-1.5	-4.1	2.6	6.8	1.4	-7.1	-23.8	-15.5	-22.5	-11.8

2 各業界別総評

県内の業界別等の概要は以下のとおりである。

観光関連 [コロナショックにより、引き続き大幅悪化]

今期(4-6月)の観光関連の景況判断BSIは-100.0となった。コロナショックにより観光客が激減したこともあり、アンケートでは観光関連の全ての企業が、景況が低下したと回答した。景況の落ち込みが特に厳しくなったのは緊急事態宣言が発令された4-5月で、この間の入域観光客数は4月が7万7300人(前年同月比-90.9%)、5月が4万4000人(同-94.7%)、外国客に至っては両月とも0人となっている。

観光関連全体で業績が悪化しており、特に4-5月の業績悪化は顕著だ。ホテルやレンタカー、土産関連などにおいて、売上が前年の9割減に落ち込む状況が見られ、経営の危機に瀕する企業も多いと考えられる。

マーケットが極端に縮小しているため、前向きな現状打開策が取りにくく、企業ヒアリングでも「打つ手がない」という声が多い。多くが、特別貸付などの融資制度の利用や資産売却による資金確保、運営規模の縮小などによるコスト削減など、守りの姿勢で急場を凌いでいる状況だ。また、売上の激減で従業員数が過剰な状態になったことから、社員を休業させた企業も多い。

雇用を見ると、ヒアリングでは国の支援制度を活用しながら雇用を守るというスタンスが大勢だったが、一部の企業では余剰人員の整理が始まっており、正規雇用の整理解雇、非正規雇用の雇い止めといった対応がすでにとられている。アンケート結果では、従業員数が、正規雇用、非正規雇用ともに過剰気味となっていることから、今後の雇用環境悪化が懸念される。

なお、観光の自粛解除があった6月19日からは観光客が戻り始め、回復を徐々に実感している企業が見られる。ただし、今後、コロナ前の水準に回復できるという見通しは少なく、売上目標を下げる企業が大勢だ。

来期(7-9月)の景況見通しBSIは-11.1と下げ幅は縮小しているが、依然として下降するという見方が多い。観光繁忙期や政府の需要喚起策への期待もあり、少なくとも今期(4-6月期)よりは改善するという見方が増えたとみられる。ただし、再度の休業に追い込まれるほどの第2波を懸念する声は非常に強くなっている。

建設・不動産関連〔建設、不動産ともに悪化〕

建設・不動産関連の今期(4-6月)の景況判断 BSI は建設業で-53.6、不動産で-44.4 となり、それぞれ大幅に低下している。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、観光関連施設の建設が白紙になったり、着工が遅れたりするなどの影響が一部でみられた。

建設業に関し、5月の新規着工数は住宅、企業設備ともに増加したものの、緊急事態が宣言された4、5月の間、不要不急の外出がはばかられ、営業活動に支障をきたした企業も多かった。「7月以降、新規案件は見通せていない」とする声が複数聞かれた。

観光低迷に伴うホテル建設の減少を懸念する声も多く上がった。観光や飲食と異なり、時間差で需要減が訪れるだろうとの見方が大勢を占めている。

建設業は依然として人手不足感が強く、建築単価高騰の遠因になっているとみられる。

不動産業では、賃貸の新規契約が前年同期で微減した企業があったものの全体的には高い稼働率を維持しているとみられる。飲食店からの家賃減免の求めに応じた事例もあったが、手数料収入への影響は限定的だった。一方、宮古、石垣などの離島ではホテルやマリンレジヤのスタッフ引き上げなどで新築や既存のアパート(単身者向け)に空きが出ている。

売買に関しては新築マンションの売れ行きが鈍く、完成時期までに完売が見込めない物件も出てきている。既に中古マンションの値下げの動きがあり、分譲業者は新築価格の下落圧力につながることを懸念している。

来期(7-9月)の見通し BSI は建設業が-11.6、不動産関連が-11.1 と、今期に比べると持ち直すとの見方が強い。建設、不動産ともに「実体経済から半年か1年遅れで影響が出る」という声が多く、両業種とも秋以降にコロナの影響が本格化する恐れがある。

食品・消費・サービス関連〔 コロナが波及し、全体として悪化 〕

新型コロナウイルスの感染拡大が多方面に波及し、食品・消費・サービス関連は、業況が大幅に低下している。業種別に4-6月実績の景況判断BSIを見ると、飲食サービス(-100)、製造業(-83.3)、その他のサービス業(-67.6)、卸売・小売業(-64.6)、医療・福祉サービス(-61.9)と、全体で業況は下降した。

コロナショック以前に見られた観光客による消費の押上が蒸発してしまった状況もあり、特に観光に頼っていた飲食サービス業や食品製造業で大幅な下降となっている。また、多くのホテルや観光施設が休業したことから、こうした施設向けに警備や保安、清掃サービスを提供している企業や販売管理システムなどを提供している情報通信企業においても、波及的に業績が悪化した。企業によっては、観光客に頼らない営業への転換などの模索が見られる。

県民による消費を見ると、食品の好調、非食品の低迷という大枠の傾向は継続しているものの、企業のターゲットや業態によって業績は異なっている。小売店では、食品特化の店舗で業績は好調で、備蓄を意識したまとめ買いが増えていることも寄与しているようだ。対して、衣料品や生活雑貨など非食品の多い店舗では、業績は厳しくなっている。ただ、非食品でも、ステイホームに伴ってDIY需要が高まっているホームセンターや、感染防止の意識が高まっているドラッグストアなどは好調のようだ。自動車などの耐久消費財の売れ行きは、引き続き不調となっている。医療・福祉分野では、感染リスクが継続していることから、利用者の減少が続いている。より厳格な感染対策が求められており、職員の精神的負担が大きくなっているという声も聞かれる。

このような中、特に業況の悪い分野で従業員の過剰感が出ており、業況の良い分野へ、主に非正規労働者の雇用が移動する動きが見られている。

なお、景況の悪化も観光自粛解除後は若干の回復が見られている。

来期(7-9月)の見通しBSIは、飲食サービス業、医療・福祉は上昇超。製造業、情報通信業、卸売・小売業、その他のサービス業は引き続き下降超となっている。

以上

—— 本資料のご利用に際して ——

- ・ 本資料は弊社の著作物であり、著作権法により保護されております。著作権法の定めに従い、引用する際には、必ず出所・株式会社海邦総研と明記してください。
- ・ 本資料は、弊社HP(<http://www.kaiho-ri.jp/>)においても公表しております。
- ・ 本調査に関する問い合わせは、弊社・地域経済調査部・瀬川、当銘までご連絡ください。

TEL: 098-869-8724 E-mail: sonshu_segawa@kaiho-ri.jp